

～下田のデキゴト～



「黒船」が運ぶ170周年（9月30日まで）

下田開港170周年を記念し、伊豆急行株式会社が運行しているリゾート21黒船電車にオリジナルヘッドマークが9月30日まで掲出されています。期間限定ですので、ぜひご利用ください！



6/1 地域の安全のための備え

市消防団第5分団（浜崎地区）と団本部、訓練指導員らが外浦海岸で水防訓練を行いました。出水期に備え、海岸の砂を利用し100個の土のうを手際いい作業によりあっという間に作り上げられました。



6/20 『人生、前向いてナンボ。』講演会

下田市民文化会館と下田中学校において、NPO法人須磨ユニバーサルビーチプロジェクトの木戸俊介代表に、ポジティブ思考を身に着けた秘訣や障がいを通じて学んだこと、夢の叶え方を講演いただきました。

6月の できごと	1日	下田をきれいにする日
	2日	土砂災害・全国防災訓練
	14日	劇団四季観劇（市内全小学校）



6/1～30 第53回あじさい祭開催

あじさい群生日本一！およそ300万輪咲き誇るあじさい園。今回も多くの方々が賑わいました。園内には、群生地までの距離を示す看板や記念写真用にフォトフレームなど様々な装飾がされ、来園者を盛大に出迎えました。



6/7 中学生によるものづくり体験

下田中学校3年生139名が、総合的な学習の時間の中で、市内15事業所に分かれ、「職人さんから学ぶものづくり」を体験し、市の産業や職人さんの生き方について学びました。



6/27 叙位・死亡叙勲の伝達

元市長の石井直樹さん（故）に従五位（叙位）、元市議会議員の土屋磯雄さん（故）に旭日単光章（死亡叙勲）を伝達しました。市の運営にご尽力された方々であり、その功労に対し、市長より伝達が行われました。

15日	朗読で味わう下田の文学
20日	『人生、前向いてナンボ。』講演会
25日	ポッチャ教室

地域子育て支援センター通信

問合せ先 地域子育て支援センター ☎072200



8月の予定

- 3日(土) 開館日
- 9日(金) わくわくタイム *午後閉館(清掃・消毒)
- 17日(土) 開館日
- 22日(木) 誕生会 10:30～
- 23日(金) プール遊び終了 *午後閉館(清掃・消毒)
- 26日(月) 発育測定・育児相談 9:00～11:00
保健師・栄養士来所

※予定は変更になることもあります。
詳細は子育て支援センターまでお問い合わせください。

水遊びのお知らせ 🍷

- ・水遊び期間 7月10日(水)～8月23日(金)
- ・持ち物 タオル・着替え・水遊び用パンツ
- ※天候や行事等により実施しない日もあります。



誕生会 図書館出前講座

あちらこちらからセミの鳴き声が聞こえ、暑い夏がやってきました。室内でもこまめに水分補給を心がけ、戸外では帽子などで直射日光から身を守るようにしましょう。子育て支援センターでは水遊びやプール遊びで夏を楽しんでいきたいと思えます。休息、睡眠、そして夏バテしない食事に心がけ、元気に過ごしたいですね。どうぞ、支援センターに遊びに来てくださいね。



おでかけ広場 体育館で遊ぼう

こんにちは、教育長です 「近所で」

近所で幼い子どもが3人集まり、しゃがんで地べたに何か描いて遊んでいます。このような光景、久しぶりに見た感じがして、なんだかほっとしました。この原稿を書いている今日、下田太鼓祭りの執行部役員の方々がご挨拶にみえて、「子どもの参加を募りたいんです。旧町内だけでなく、市内小学校に声をかけさせていたいただきたいのですが。」昨年度も市内全域で募り、30数名が参加してくれましたか。お願いにももちろん快諾しましたが、大変ご苦労されているようでした。

少子化の影響は言うまでもありませんが、遊び場を外に求めて過ごす子どもが減ってきているのも確かだと感じています。私は、四季を問わず、日が暮れるまで近所の友達と外で遊び、お母さんたちの「こはんだよー！」の声に「ええー！」と言いがらしぶしぶ帰宅するような毎日でした。子どもは外で遊ぶことを勧めます。動植物を探したり追いかけてたり捕まえたり、稜線

や海を眺めたり、走ったり泳いだり。五感で無限に豊かな自然や地域との関わりを感じ取ります。それは子どもの心と体をバランスよく作ります。小学生の視力1.0未満36%とは、ロート製薬アンケート結果。裸眼視力が1.0以上の子どもはデジタル機器の接触時間が1日約73分、屋外活動は約72分。0.2以下だと、デジタル機器が約95分、屋外活動は約49分だそうなんです。

「子どもが座り込んで夢中で虫を覗き込んでいるときは一緒に見てみましょう。」「親が自然の美しさに感動し、子どもが自然に驚く時間を共有できるのは人生の大きな喜びです」板東真理子さんの「親の品格」より。おすすめの一冊です。

地球温暖化の影響や、ご両親共働きのご家庭、核家族の増加、デジタル機器の加速度的な普及、そして少子化。私が外で遊んでいた頃と時代背景は大きく変容しましたが、大人が子どもたちのためにできること、それは、まだまだ沢山あると思っています。

